

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和2年4月1日（水）
午後3時7分～午後3時51分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 6 議長あいさつ
- 7 協議事項

（1）休校を解除した4月からの登校について

梅村議長：議員間の情報共有と、意見があれば取りまとめて執行機関に伝えたい。何かあるか。

堀議員：国の方向性や愛知県の要請が出されたときとは状況が違う。稲沢や江南や北名古屋に感染者が出てきており、岩倉でいつ感染者が出てもおかしくない。この状況で登校が再開されることに不安の声が寄せられている。要望書も2通届いている。刻々と悪くなっていく状況で、再開していいのか、議会でも考える。

榊谷議員：今日は執行機関の出席はないのか。4月からの登校について、岩倉市の方向性はどのようなか聞きたい。

梅村議長：執行機関は忙しいので出席は求めている。ホームページに公開されているが、入学式は、小学校は6日、中学校は7日、始業式はどちらも7日。入学式は縮小し必要最低限の対応、給食は通常通り、登下校も集団での従来のもの。出席したくない場合は欠席扱い。感染、濃厚接触ということになれば出席停止。部活動は三密を避けて行くと、以上のように聞いている。

木村議員：深刻さは増している。小中学生のいる家庭の意見は極端で、行かせたくないという意見もあれば、子どもたちは楽しみにしているという意見もある。何が正しいかは判断が難しい。初めての事であるから、学校長も文科省の指針に基づくしかないということであった。継続している保育園や放課後児童クラブはかなり徹底して注意しながら行っている。

榊谷議員：保育園は各園50万円の補正予算で消毒液、非接触体温計、次亜塩素酸等の対応があったが、各学校は保育園のような予算を組むことはないのか確認してほしい。それから、市民の方から質問があり、対策本部会議に医療の専門家が入っているか確認してほしい。27日に安倍首相が言って、28日に放課後児童クラブの対応が朝7時半から夜7時まで、退職された指導員や臨時職員でつないでくれたのは素晴らしい事である。ただ、子どもは接触しないでもいるのもマスクをずっとしているのも難しく、先生達の培ったノウハウをもらうことも大切である。オオサキメディカルでマ

スクを作っていれば配付できないか。添付の要望書にもあるが、十分な説明がなかったため、子ども達がショックを受けており、休校再開について説明をすることが大切と考える。

大野議員：日々情報が変わり、毎日県の教育委員会から通達が来るそうだ。

高校は各校判断で部活も開始されている。情報が分からない中、今までの経緯を聞かなければ、議会として何かを提言というのは憚られる。

須藤議員：この全員協議会は、議会での要望をまとめて当局に出すものか。

梅村議長：合意できるものがまとまれば出すべきであるが、どういう問題が起きているのか情報共有する場になればと考える。

黒川議員：基礎疾患、特にぜんそく等を持つ子にとっては生命に関わるため、授業再開に際してそういう子どもへの対応をどうするのか。行政と議会が一体となって考えたい。

堀議員：議会が支援本部として機能することが必要。情報共有が第一、ホームページだけでなく教育長から話をききたい。児童だけの問題でなく、子どもから高齢の家族への感染もありうるため、全てを把握する必要がある。各課で連携していると思うが、逐一情報を議会に流してもらわなければならない。

梅村議長：執行機関も適切な対応を取っているなか、議員から対策支援本部の声があがれば立ち上げていきたい。

宮川議員：置かれている状況がわからないなか、無責任な発言はできない。水際対策ができる状況ではなく既に非常事態である。今、行い得る最適なことは何なのか、示してもらわないと。現状と今後の対策を確認したうえでないと提言は難しい。

梅村議長：情報量が少ないので議論が出来ないとは思っていたが、議会は情報を受けてその上で判断するため、情報共有に努めていきたい。登校を再開したが本当に大丈夫かとの意見が出るかと思っていたが、それもなかなか言いづらいというのも理解できる。

片岡議員：小牧市は登校するうえでの手順を決めているようだ。岩倉市も同様の手順を踏むことは必要と考える。

梶谷議員：市民からの声やこの場の意見を集約して、執行機関へ尋ねるということで良いか。岩倉でも保育園や学童保育で検温は前提であると思うが、片岡議員の言うのは、小牧はホームページで手順を公表しているが、岩倉はないということか。

片岡議員：岩倉ではルールを公表していない。小牧は細かく公開しており、親が安心できるような情報が流れている。岩倉でもシステム化が必要と考える。

水野議員：再開後の授業のやり方をはっきりさせた方が良い。体育の授業や

部活動等で、身体接触が避けられない活動もある。3密を避けることが原則であるが、実際の運用では難しいのではないか。

大野議員：高校は窓を開けて行くと徹底している。おそらくPTAからも意見は出ている。議会としてコロナ対策で何ができるかといえ、専決処分等を認めていくことであり、情報が無い中では保護者やPTAの意見を参考に進めてください以外に言えることはない。

堀議員：保護者には共働きで意見を言えない場合もあるわけで、声なき声を拾うのも議員の役割と考える。情報が無いから意見は言えないというのは違うと思う。たとえ少数意見でも、執行機関に届けることが議会の役割の一つ。

宮川議員：何が出来ていて、何が出来ていないかがわからないと、提言することは難しいと言っている。

堀議員：3月の補正予算で小学校の空気清浄機購入費があがってないのは事実。

宮川議員：確認をしたうえで安全対策に不備があることが明確であれば、議会として言わなければいけないが、対応が先に行われている状況で、我々がブレーキを掛けるような発言はしたくない。そのため確認が必要。

木村議員：学校がどのような対応を取るのかというのは市民に公開していくべき。

梅村議長：市ではホームページに掲載しており、詳細については各学校のホームページでとなっている。

井上議員：普段の学校の流れで行くと4月1日午前に就任式等があり、午後に職員会議があるため、その後、対策が各学校のホームページで公開されると思われる。

大野議員：執行機関が出席しないと全員協議会の意味がない。議員だけで喋っていても仕方がない。

宮川議員：父兄を含めた市民への情報公開の在り方、学校生活の安全対策の在り方、議会としての手段等を取りまとめて、執行機関に投げかければよい。

梅村議長：学校では安全対策は当然になされている。議会側として、この点は盲点だというようなことを提言出来たらと考えていた。

須藤議員：対策本部に局長は入っているか。

梅村議長：入っていない。

各議員：局長に感染症対策本部に出てもらおう。

梅村議長：局長に出てもらおうようにするか。

各議員：賛成

梅村議長：ホームページによる情報公開の徹底と、子ども一人ひとりの状況

を把握して臨んでほしいこと、補正予算を組んでも衛生面の対応をすること、対策本部への局長の参加、以上を申し入れることで良いか。

(2) その他

木村議員：図書館の貸し出しが今日から可となっている。周知してほしいが、人が殺到しないように、あまり知らせていないのだろうか。

片岡議員：ホームページに掲載されている。

堀議員：情報弱者のことが考えられていない。

梅村議長：広報車の活用等で周知してもらおう。

大野議員：乳幼児健診の案内は対象者に行っているか。

各議員：行っている。

宮川議員：4か月で実施することに意味がある4か月健診が1か月遅れて大丈夫なのかと危惧する意見を聞いている。後日、同時に健診が重なり密な状態になることが課題と考えられる。

榊谷議員：保健センターでは密集しないような方法をとると聞いている。

水野議員：要望書が2件出ていたかと思うが、扱いはどうするのか。

梅村議長：議員個々の判断で出来得るものがあれば申し出ていただくもの。

8 その他

梅村議長：4月10日岩倉神社のみたま祭への議員出席はなし。議会サポーター3期目募集に向け協力を依頼するかも知れない。